



今回は、社会連携セミナー第3回「さくら塾」についての報告です。

◇ 7月21日 第13回「さくら塾」 名古屋外国語大学准教授 堀部純子先生

名古屋外国語大学世界共生学部准教授の堀部純子先生。国連本部軍縮部、外務省、国際原子力機構、原子力規制委員会等の諸機関で、核軍縮問題に携わった方です。テーマは「核軍縮をめぐる世界の現状と課題」。核兵器に関する基礎知識、核軍縮の歴史と現状、核軍縮がなかなか進まない理由、今後の課題について、わかりやすくお話ししてくださいました。

「核軍縮」をテーマとした模擬国連に参加予定の生徒。核軍縮や国際平和に関心のある生徒。計14名が参加しました。

<生徒の感想>

私は今回の講話を聞いて、改めて核軍縮の難しさと核兵器の恐ろしさを感じました。核をめぐる様々な条約が制定されてはいますが、それは核保有国にとって有利なものや、また肝心の保有国が入っていないものばかりです。よって、核軍縮に関する重要な一歩とはならないので、核軍縮の難しさを感じました。また日本に落とされた核兵器よりも約 3300 倍以上の威力のある兵器が存在していることを聞きました。その事実にとっても驚かされ、もし核戦争ともなれば簡単に人類社会が吹っ飛んでしまうと思うととても恐ろしいです。

私は SGH のグループワークで核軍縮に関して考えを深めていくグループに所属しているので、今回のような貴重な講話を聞かせて頂けてとても感謝しています。これからグループワークの中でしっかり考えを深めていきたいです。

今回の講演は、事前にある程度、核軍縮について勉強してから臨んだので、かなり深いところまで理解することができました。実際に核軍縮会議に参加したこともある方の話だったので、とても現実味があり、参考になりました。また、かなり僕たちにも分かるように噛み砕いて説明してくださり、理解し易かったです。

実際に話を聞いて、この上なく難しい議題だと感じました。それでも、模擬国連大会で、建設的な議論ができるように頑張りたいです。

<講義の様子>

